

議 事 概 要

会議名	平成２６年度 第６回 海津市地域公共交通会議
日時	平成２７年１月１６日（金）１０：００～１２：００
場所	海津市役所東館 ４階 災害対策本部室
出席者	委員１７名 事務局５名
議題等	報告１ 意見交換会について 資料１ 議題１ 海津市地域公共交通会議設置要綱の改正について 資料２ 議題２ 海津市コミュニティバス バス停位置・名称変更について 資料３ 議題３ 海津市公共交通計画（案） 資料４ 海津市生活交通ネットワーク計画（案）について 資料５ 議題４ パブリックコメントについて 資料６ 議題５ 事業評価について 資料７
議事概要	
報告事項 報告１ 意見交換会について ○事務局からの説明（資料１に基づき説明） ・海津市公共交通に関する「意見交換会」実施報告 ○委員からの質問・回答、意見等 ・福祉関係の意見が、多く出ていると思う。もしここでやると、ノンステップバスにしなければならない等、いろんな問題がある。福祉とコミュバスは分けた方がいい。福祉は、福祉有償運送で考えるべき。全部コミュバスでやると、混乱すると思う →１０地区中、２地区では、地区社協で、高齢者限定の無料の送迎サービスを行っているという所もあるます。分けて考えたい。 ・２地区とはどこか。 →石津地区、下多度地区である。 ・今説明があった件について、どこまで集約し、この場で討論するべきかを考えないといけないのではないか。 →議題３で意見の対応を考えていますので、そちらで討議をお願いしたい。 議題 議題１ 海津市地域公共交通会議設置要綱の改正について ○事務局からの説明（資料２に基づき説明） ・海津市地域公共交通会議設置要綱の改正について ○委員からの質問・回答、意見等 ・最後の赤字のところは説明だけで終わりなのか。 →法改正の施行は１１月２０日になっていますが、この会議で了承いただく１月１６日にしたい。 ○原案のとおり承認。 議題２ 海津市コミュニティバス バス停位置・名称変更について ○事務局からの説明（資料３に基づき説明）	

・海津市コミュニティバス バス停位置・名称変更について

○委員からの質問・回答、意見等

・公共の道路を使ったらどうかと言っているのに、事故の確率の高い駐車場を使おうというのか。バス事業者からは、右左折がややこしいということのようだが。

→やすらぎ会館と駐車場の間の道路を使えばとのことですが、この道は、幅員 5 m、交通量は少ないですが、バスと車両の交差にはもう少し余裕が必要です。県道へ出る箇所が、東側へ出る場合、鋭角となり出にくい。以上 2 点の観点から、駐車場を回る案としています。意見交換会でも駐車場の方が良いという意見が多くありました。

・事故の確率の高い駐車場が何故いいのか。危険性を軽減すべきではないのか。

・今尾、海西地区の意見交換会に出席した。参加者にはバス事業者の事情までは言わない上での、住民に聞いた意見として結論づけている。駐車場での事故の確率が高いと言われるが、会合で使用されでもしない限り、駐車場は空いていると判断できる。心配には及ばないのではないのか。

・バス停というのは、便利なところで乗降すべきことだが、理想は施設に入って乗降する方が安全である。駐車場は、複数の車両の動きにより事故の可能性は上がる、一般論であるが。しかし、意見のような利用状況なら、施設で乗降するほうが安全だとも言える。駐車場の使用実態は承知していないので、どちらがよいとは言えない。

・月～金曜日まで毎日、「まごの手クラブ」を開催しているので施設の状況がわかるのだが、施設を利用しにくるバスは駐車場まで入って来ている。今の案の方が安全だと思う。今尾の会議時にも、そのように意見させてもらっている。

・運送事業の経営をしているが、できるだけ駐車場は避けて移動してくださいと荷主の方から言われている。何かイベントでもあれば、駐車場には車が置かれる。事業に携わっているから分かることもある。今後、何か起きたら、この会議の責任論にもなりかねない。道路にすれば、そういう問題は回避できる。

→道路を利用する場合、バスと一般車両の交差が厳しい。県道に出るところは左折できない。やすらぎ会館の敷地内利用も考慮したが、資料 2 枚目の青色で示す所には、庇があるが低くてその下には入れない。そのような面も考慮した結果、駐車場利用としています。

・2 地区の意見交換会では本案で了承されたということか。

→了承されました。

○原案のとおり承認。

議題 3 海津市公共交通計画（案）・海津市生活交通ネットワーク計画（案）について

○事務局からの説明（資料 4、5 に基づき説明）

・海津市公共交通計画（案）・海津市生活交通ネットワーク計画（案）について

○委員からの質問・回答、意見等

・資料 5 の 8 頁、基幹のバス運賃について、運転免許自主返納者は入るのか。

→一定時定路線は、現在の一定時定路線と同じで自主返納者の半額はなし。デマンドでは、65 歳以上の半額はなしで、自主返納者は半額にするという案です。

・5 頁、弥富・津島方面へのバス路線が必要というのはわかるが、その対応について、どういうものがあるのか疑問である。現在の案の実施で、乗車が増えるのかどうか。

名古屋へは、勝幡駅、藤浪駅、津島駅から行った方がいい。弥富と、名古屋から帰る路線は、弥富、佐屋方面の電車に乗らなくては行けない。勝幡駅、藤浪駅ならば、岐阜駅方面の電車を利用して、須ヶ口乗換でも行ける。また藤浪駅からだと、空港へ行くのがたいへん便利で、藤波駅から一本である。

→10 地区で実施した意見交換会では、やはりそれぞれ意見が違っています。旧海津町

の方は、名古屋に出る時は、伊藤委員の意見のルートが便利と言われます。しかし、今の段階で、どうするか位置付けるのは難しく、市内を走る養老鉄道を使って、名古屋まで行って欲しいと言う事で書いています。

・この件は、まだ表記が不自然ではないか。また、現実問題として弥富・津島方面の駅へ行くバスルートがないので、表現を考えて欲しい。

・養老町、輪之内町との連携について、養老町の人が、海津市の登録を受けられるかわからない。輪之内町も海津市の市民の登録を受けられるかわからない。デマンドが養老から来てくれるか、向こうで作っているのか分からないので、確認して頂けたらと思う。

5 頁の 4、今尾付近から今尾橋を通り、美濃津屋駅に接続するルートが必要ということで、これは、デマンド型の定期路線か、臨時なのか、明確にしてもらいたい。

デマンド運行はお金がかかる。サーバーなどを監理する人も必要。システムの予算も組まないと見えてこない。市として今後の方向性をはっきりさせて欲しい。

南部幹線は、系統が複数あるのか。その系統が、どのように走るのか、この図では分かりにくい。どのような系統を幾つ作るのか、合わせて表記をお願いしたい。

→養老町のデマンド交通を海津市民が登録して利用できます。実際、駒野駅から養老町の養老整形に行っている方もみえます。輪之内町も、登録は任意ということで、平田のヨシズヤにも停留所があり、予約を入れれば、乗れることは確認しています。

今尾付近から今尾橋を通り美濃津屋駅に接続するルートについては、デマンド型で対応したい。デマンドの今後の方向性について、利用者の想定は主に高齢者で、コミュニティバスの利用者の想定は、高校生の通学、お千代保さん等への観光の足として考えた。予算的に厳しいことは認識しています。

南幹線については、今回、ダイヤの骨格を示したが、その記載をもっと分かりやすくしたい。

・デマンドとコミュニティバスでは利用者が異なる。デマンドは高齢者向けという話だが、基本的にコミュバスにも高齢者が乗っている。もっと楽になるということで今後、高齢者がデマンドを利用するのは分かる。では、コミュニティバスは、今後、誰が乗るのか。何か調査したものはあるか。

→コミュニティバスの準幹線を無くせばよいが、しかし、現在、朝に高校生が 40 人ほど通学で利用している面があり、この準幹線は残し、高齢者等の移動はデマンド型で対応したい。

・スクールバスを運行すればいいのではないか。運行ダイヤ、デマンドの設定もさらに詰める必要がある。未だ無駄が多いように思う。

・費用を考えると、コミュニティバスに乗る人がいるのか疑問である。予算は後からつけるということのようだが、計画した後、実際やっていけるのか不安がある。バス停もまだ重複するところが多いのではないか。予算の面も早く進めることも重要である。

→今の所、現在のコミュバスと、同じ位の数字で行けると考えています。

・システム整備だけでいっぱいになっても困る。本当に予約ができるのが、1 時間前で、できるのか。

高校生の通学の確保という話だが、地元の高校生よりも他所からの高校生の方が多いと思われる。なぜ他所からくる高校生に我々の税金を投入する必要があるのか。

運賃改正により、さらに利用が減ったとしても、予算的に大丈夫なのか。デマンドと定時定路線バスの重複で無駄が出るのではないか。

→デマンドのシステム整備の指摘ですが、サーバーを所有せずクラウド利用を前提にするなど、以前より費用は下がってきています。

他市の高校生向けだとしても、長い目で見れば、市に来てくれる人が確保される訳で、まちづくりとしての効果も見込めると考えます。

デマンドと定時定路線バスの重複という指摘ですが、実際に運行しながら、PDCA サイクルにより検証、見直しをしながら進めていきたい。

・バスは高校生だけではなく観光客も利用する。まちの発展の為、他市の人が乗ることも無駄ではないと思う。

・新料金は、積算根拠に基づいて出していると思うが、説明をして下さい。
→新料金は、積算根拠について基づいて出しているものではありません。コミュニティバスの運行費用、公共交通の費用は、利用者負担のみで賄える金額でないので、ご理解いただきたい。

・観光利用で、お千代保稲荷へ来てくれる客が充実することになったらいい。どのあたりで落ち着くのか。市としてある程度予算をかけるのか。デマンドは支出が増える。その辺りを考慮して、今後も色々やっていただきたい。

→PDCAサイクルにより運行の見直しを図っていきます。弥富、津島、勝幡の利用もそうだが、年次見直しを図っていきます。

・8頁の料金について。料金の改定で1ヶ月定期券が750円から3,600円と、一気に5倍というのは住民のコンセンサスは得られそうなのか。

→これまでの通学定期1ヶ月750円は、割引率が88%であり、これまで割引率が高過ぎであった。例えば、羽島市のコミュニティバスは50%、名阪近鉄は40%の割引率となっている。養老鉄道は、3ヶ月70.7%であり、これを目安にしている。それでも他のバス運行会社より高い割引率であり、ご理解いただきたい。

・定期の件ですが、教育委員会でキッズパスポートといいまして、市内の小学生、中学生向けに、市内のコミュバス、養老鉄道が乗り放題で年間5,000円のチケットを予算確保している。市内の小中学生は低額で利用できる。

ここでの定期の想定は、高校生、通勤の方になり、妥当な金額であると思っている。

・周知方法はどうかになっているのか。

→市報かいづ、市ホームページでお知らせするのはもちろんですが、自治会、老人会等へ出向いての説明も想定しています。

・バスにも掲示するのか。

→今年の10月からの予定としているので、決まり次第、コミュニティバスにおいてもお知らせしていきます。

・海津市公共交通計画案が、要綱改正によって、形成計画として活性化再生法に合致するかどうか、これから確認していくことになる。修正事項等あれば、事務局に修正を依頼する。現状では、まだ基本方針から体系図までの流れが唐突にみえる。ここの補足、書込みが必要かと思う。今の意見等への返事についても書き込む必要がある。以後、修正意見はこれから出していきたい。

→形成計画については、今現在、項目等があるだけで、詳細は示されていないと認識しているので、引き続きご指導願いたい。

○内容については、委員の指摘、予算との関係、パブリックコメントも踏まえ、次回、最終案として確認していただくことで、承認。

議題4 パブリックコメントについて

○事務局からの説明（資料6に基づき説明）

・パブリックコメントの実施について

○委員からの質問・回答、意見等

- ・案の公表にあたり、下多度、石津支所も加えていただきたい。
→そのとおり実施します。

○案の公表場所に下多度、石津支所を加えることで承認。

議題 5 事業評価について

○事務局からの説明（資料 7 に基づき説明）

- ・地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告について

質疑等なし

○原案のとおり承認。

その他

○委員からの意見等

- ・名阪近鉄バスの利用者からの意見であるが、前の高校のバス停とコミュニティバスの秋葉神社のバス停までの間がなんとかならないかと聞いている。大垣市民病院に行くのに大変だということである。何か検討の余地があるかどうか。

→事務局でも状況は認識しています。平田庁舎の跡地等を利用し、バスが余裕で転回できる場所を確保し、名阪近鉄バスの路線の延長をお願いし、結節点となるような方向にならないかと考えています。

- ・デマンドの関係で、65 才以上にするということだったと思うが、資料 4、12 頁には大人、高校生以上としている。そのあたりは訂正なのか、どちらなのか、詰めてやっていただきたい。

→そのように詰めて実施していきたい。

○事務局から今後のスケジュールについて説明

閉会